

指定管理者モニタリング評価シート

施設所管課名

建設部公園管理課

1 施設概要

施設名称	追浜公園、夏島都市緑地、夏島グラウンド
指定管理者名	シティサポートよこすか・横浜DeNAベイスターズ共同事業体（（一財）シティサポートよこすか、（株）横浜DeNAベイスターズ）
指定期間	令和4年（2022年）4月1日～令和9年（2027年）3月31日（5年間）
評価対象期間	令和6年（2024年）4月1日～令和7年（2025年）3月31日

2 総合評価

プロ野球公式戦や多くの大会が開催されるなかで、計画的な施設・設備の維持管理や点検が実施され、良好なコンディションが維持されていたこと、課題への現場での迅速な対応も適切に行われていたことが評価できる。

収支面では、人件費や光熱水料費の増加といった課題があったが、施設や物品の修繕を可能な限り内製化し費用削減に努めるとともに、勤務時間の調整による社会保険料等件費の抑制にも取り組み、経費削減に向けた工夫と努力がなされており、結果として赤字額の抑制につながっている点は評価できる。

引き続き、豊富な管理経験から得られたノウハウを活かし、適切な管理運営を行い、スポーツ振興だけでなく地域経済の振興に寄与する集客施設の一面としても運用に期待したい。

3 管理実績評価

評価項目	評価内容	施設所管課評価	
		評価	特記事項
法令遵守	○関連する法令、条例等を遵守して業務が行われているか。	B	
	○個人情報の保護措置や情報公開制度の適正な運用が確保されているか。	B	
施設管理（共通）	○条例や協定書等に基づき、開館日・開館時間等を遵守しているか。	B	
	○条例や協定書等に基づき、適正な申請受付業務・使用許可業務が行われているか。	B	
	○条例や協定書等に基づき、使用料又は利用料金に係る手続が適正に行われているか。	B	
	○協定書等に基づき、施設及び設備の保守点検等が適切に行われているか。	B	
	○協定書等に基づき、施設の清掃業務が適切に行われているか。	B	
	○協定書等に基づき、施設の警備業務が適切に行われているか。	B	
	○協定書等に基づき、物品の管理が適切に行われているか。	B	
	○協定書等に基づき、施設等の修繕業務が適切に行われているか。	B	
	○協定書等に基づき、事業報告書等の書類が期限までに提出されているか。	B	

	○施設管理を行う中で生じた施設課題に適切に対応しているか。	B	
利用者への配慮	○利用者間のトラブルや不適切な施設利用者への対応が適切に行われているか。	B	
	○利用者からの意見を聴取し、業務改善に活用しているか。	B	
リスクへの対応	○事故や災害などの不測の事態への対応策が講じられているか。	B	
	○事故や災害などの発生時には、必要な措置を講じるとともに、速やかに市への報告がされているか。	B	
障害者、男女共同参画及び多様な性への配慮	○障害者の雇用や障害者就労施設等からの物品購入などの障害者への配慮がされているか。	B	
	○性別による差別のない雇用やワークライフバランスの実現に向けた取組など男女共同参画への配慮がされているか。	B	
	○多様な性に関する差別やハラスメントの禁止に関する内規の整備や多様な性に関する研修の受講、多様な性も考慮した福利厚生等の提供、顧客や取引先など外部に向けた環境整備やサービスの取組など多様な性への配慮がされているか。	B	
地域貢献	○地元人材の雇用が行われているか。	B	
	○市内中小企業等への発注が行われているか。	B	
	○市内の団体・施設・企業等との連携が行われているか。	B	
	○その他の地域貢献が行われているか。	B	
障害者雇用※ ※雇用義務のある団体（従業員を40人以上雇用している団体）のみ評価	○障害者雇用率が法定雇用率（2.5％）を達成しているか。	B	
人員体制	○必要な人員が配置されているか。	B	
	○職員への研修等の人材育成は計画通りに実施されているか。	B	
	○人件費の設定は適切か。	B	
労働基準※ ※労働基準法上、作成又は届出義務のある団体のみ評価	○就業規則の労働基準監督署への届出がされているか。	B	
	○労働者に労働条件通知書を交付しているか。	B	
	○時間外・休日労働協定届（36協定届）の労働基準監督署への届出がされているか。	B	
	○社会保険や雇用保険に加入しているか。	B	

経費削減	○経費の削減の取組は行ったか。	B	
	○経費の削減分を活用して、市民サービスの向上などの取組を行ったか。	B	
施設の目的に即した 総合運営	○利用者の安全確保、緊急時の救急対応など、運動施設の安全な運営管理や、利用者の視点に立った有料公園施設の運営管理について、ノウハウを有しているか。また、運動施設や競技ルールに精通した人材を確保しているか。	B	
利用者への対応	○利用者間のトラブルや不適切な施設利用者への対応が適切に行われるなど、利用者の公平性が確保されるとともに、利用者からの声を反映する仕組みが確保されるか。	B	
	○運動公園施設や遊具施設の安全性に十分な配慮を行えるか。また、それらの長寿命化を視野にいれた維持修繕に精通し、実行できるか。	B	
施設の維持管理	○運動公園施設や遊具施設の安全性に十分な配慮を行えるか。また、それらの長寿命化を視野にいれた維持修繕に精通し、実行できるか。植栽管理に精通した人材を確保しているか。	B	
スポーツの普及・振 興	○横浜DeNAベイスターズの本拠地となっている横須賀スタジアム等を生かし、市のスポーツ拠点として地域及び市全体のスポーツを振興することができる事業が具体的に企画・提案されているか。 特に、追浜地区の活性や平日の利用促進、広報・PRについて、効果的な取組が見込まれるか。	B	
ドッグランの運営	○ドッグランの運営体制について、利用者が安心して使用できる環境を作れるか。また、利用者や管理人などがドッグランの利用や犬についての理解を深めることができる機会を提供できているか。	B	

評価	判定基準
A	協定書等※に定める水準を上回っている。
B	協定書等※に定める水準どおりである。
C	協定書等※に定める水準に達していない。

※協定書等…基本協定書、年度協定書、仕様書、募集（申請）要項及び事業計画書のことをいう。

4 収支状況評価

収支状況については、人件費の増加が主な赤字額の要因となっており、正職員を追浜公園に配置したことによるものが赤字額として表れている。今後は、単純に人員を減らすのではなく、業務に応じて適切な職員を効果的に配置するなど、より効率的な人員運用を検討し、経費削減に努めていく必要がある。

一方で、施設や物品の修繕を可能な限り内製化することによるコスト削減や、勤務時間の調整による社会保険料等人件費の圧縮など、経費削減に向けた工夫と努力が見受けられ、赤字額の抑制に一定の効果を上げている点が評価できる。